

教育事業別報告書

事業名	教職員免許状更新講習
趣 旨	今日の社会的環境及び児童・生徒の現状や発達段階を踏まえ、体験活動の意義と必要性及び教育的効果についての理解を図る。また、自然体験活動を実際に体験し、教員に求められるコミュニケーション能力の向上や自然体験活動の指導方法を身につけることにより、教員としての指導力の向上を図る。
期 間	平成30年8月10日（金）～8月12日（日）2泊3日
募集人員 (募集結果)	小・中学校教諭 30名 (小・中・特別支援学校教諭等 28名)

① 事業の特色

この事業は、免許状更新講習制度にともない、教員を対象とした「教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項18時間」の講義・演習を2泊3日で行う事業である。

当所での「自然体験活動を活かしたコミュニケーション能力の向上や指導方法の習得」を主なテーマに、大学教授や教育長の講義をはじめ、野外炊事やキャンプファイヤーなどを演習として実施した。また、今回は大塚製薬工場から特別講師を招き、熱中症対策について特別講義をもうけた。



【講義の様子】



【自然観察の様子】



【人間関係づくり実習の様子】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- 今日の教育課題に基づいた講義内容であったため、参加者は高い関心を持って講義を受け、演習にも積極的に取り組む姿が見られた。
- 履修認定試験では参加者全員が優秀な成績を修めることができた。
- 近年マスコミなどでも大きく取りあげられている熱中症対策について、大塚製薬工場から特別講師を呼び、熱中症のメカニズムやWBGTなどの具体的な情報や対策について学ぶことができた。

<事業の課題>

- 参加者が各学校で実践できる講義・演習となるよう、さらなる改善を加えていく。
- 参加者が参加しやすい時期を検討し、実施する。
- 広報を早めに実施し、広範囲に情報を流す。

(企画指導専門職 遠藤公太郎)